

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

ビタミンB₂B₆主薬製剤

第3類医薬品

口内炎、肌あれに

トラフル®BBチャージ^a

トラフルBBチャージ^aは、持続型ビタミンB₂を承認基準※の最大量配合。
1日1回の服用で有効成分が内側から効くビタミン剤です。

※ビタミンB₂B₆主薬製剤の製造販売承認基準として

トラフルBBチャージ^aの特徴

- 口内炎などを改善する持続型ビタミンB₂とビタミンB₆を配合
- 皮膚や粘膜を正常に保つビオチン（ビタミンH）やコラーゲンの生成を助けるビタミンCを配合
- 肌あれに効果をあらわすハトムギ由来のヨクイニンエキスを配合

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 1.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃部膨満感

- 2.服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

下痢

- 3.1カ月位服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

■ 効能・効果

- 次の諸症状の緩和：口内炎、舌の炎症、口角炎（唇の両端の腫れ・ひび割れ）、口唇炎（唇の腫れ・ひび割れ）、肌あれ、にきび・吹き出物、皮膚炎、湿疹、かぶれ、ただれ

「ただし、これらの症状について、1カ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談して下さい」

- 次の場合のビタミンB₂B₆の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時

■ 用法・用量

次の量を水又はお湯で服用して下さい。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	2錠 	1回
7歳以上15歳未満	1錠 	
7 歳 未 満	服用しないで下さい。	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守して下さい。
- (2)食前・食後にかかわらず、いつでも服用していただけます。
- (3)7歳以上の小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

成分・分量

本剤は淡赤色のフィルムコート錠で、2錠中に次の成分を含有しています。

成分	分量	はたらき
リボフラビン酪酸エステル (ビタミンB ₂ 酪酸エステル)	20mg	皮膚や粘膜に作用し、口内炎 などを改善します。 また、からだの代謝を助け、 エネルギーを生み出します。
ピリドキシン塩酸塩 (ビタミンB ₆)	100mg	
アスコルビン酸(ビタミンC)	110mg	コラーゲンの生成を助けます。
ヨクイニンエキス	107.7mg (原生薬として1.4g)	肌あれに効果をあらわす生薬 です。
L-システイン	40mg	皮膚や粘膜に作用して健康維 持にはたらきます。
ニコチン酸アミド	30mg	
ビオチン(ビタミンH)	0.05mg	

添加物：トウモロコシデンプン、部分アルファー化デンプン、セルロース、無水ケイ酸、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、クロスポビドン、ステアリン酸Mg、ヒプロメロース、酸化チタン、タルク、クエン酸トリエチル、黄色5号、三二酸化鉄、カルナウバロウ

〈成分・分量に関連する注意〉

- (1) 本剤に配合されているビタミンB₂酪酸エステルにより、尿が黄色になることがあります。
- (2) 本剤の服用により、尿及び便の検査値に影響を与えることがあります。医師の検査を受ける場合は、ビタミンCを含有する製剤を服用していることを医師に知らせて下さい。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4) めれた手で取り扱わないで下さい。水分が錠剤につくと、表面が一部溶けて、変色又は色むらを生じることがあります。また、めれた錠剤をビンに戻すと他の錠剤にも影響を与えますので、戻さないで下さい。
- (5) ビンの中の詰め物は輸送中の錠剤破損防止用ですので、開封後は捨てて下さい。
- (6) ビンの中に乾燥剤を入れてありますので、薬を使い終わるまでは捨てないで下さい。また、間違えて服用しないよう注意して下さい。
- (7) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

口内炎について

口内炎は、口内（頬の内側や舌、唇の裏側など）の粘膜にできた小さな潰瘍を伴う炎症の総称です。原因は、噛んで粘膜を傷つけたり、栄養摂取の偏り、疲労、睡眠不足、ストレスなどさまざまです。患部がしみたり、痛みを感じるために、食事がとりづらい、しゃべりづらいなどのトラブルが起こりがちです。

口内炎予防 アドバイス

- 栄養バランスのとれた食事を心がける
- 夜更かしや不規則な生活をしないようにする
- ストレスや疲労をためないようにする
- アルコール、たばこ、刺激物をなるべく控える
- ガムや飴などで唾液を分泌させ、口の中の乾燥を防ぐ
- 食後は歯磨きをして口の中を清潔にする

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室

〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10

電 話 0120-337-336

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

トラブルについて詳しくは www.traful.jp

02®登録商標

 販売元
第一三共ヘルスケア株式会社
Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋3-14-10
ホームページ <https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>

製造販売元
滋賀県製薬株式会社
滋賀県甲賀市甲賀町滝879番地